

平成31年4月21日執行

駒ヶ根市議会議員一般選挙

選挙公報

駒ヶ根市選挙管理委員会

よし、投票に行こう！

対話と共感

共感から助け合いと分かち合いの政治へ

池田幸代は 暮らしの「困った」を「よかった」に、次の「困った」を生まないために駆け回ります

買い物に行けない	→	地域の公共交通整備
安心な食べ物を食べたい	→	農業の規制や種子条例整備
子どもをのびのび遊ばせたい	→	全天候型の遊び場作り
市の人口減る一方?	→	年齢を超えた多業種コラボで、魅力的な地域に
農業の担い手不足	→	農業と福祉の連携推進、新規就農者応援
認知症や介護の必要な人たち、身体的、精神的困難を抱える人とその家族の暮らしの困難	→	学び支援、サポーター養成や生活の具体的なサポート

伊那谷市民連合推薦

PROFILE

1972年東京生まれ。「子どもを自然の中で育てたい」という親の思いで、南箕輪村に移住。南箕輪小、中、赤穂高校卒業。赤穂高校在学中に生徒会や平和ゼミナルで活動。日本社会事業大学社会福祉学部児童福祉学科司法福祉専攻。大学卒業後は福祉新聞記者として働く。2001年から15年以上、参議院議員秘書、衆議院議員秘書として働く。国会議員政策秘書資格取得。現在、「登戸研究所調査研究会」で活動。



無所属
池田幸代
いけだ さちよ

一人ひとりが輝く駒ヶ根へ 住みよい暮らしのために

実現しました！

- ◆育ボス・温（あった）かボス宣言を市に提案・導入！
- ◆市内公共施設に新電力を導入し、経費削減！
- ◆生活支援コーディネーターの設置を推進・実現！
- ◆子ども医療費窓口無料化！公明党の取り組みが結実
- ◆空き家バンク推進と空き家片付け補助金制度を創設！

竹村ともこの「こまがね」ビジョン

- ① 福祉・医療の充実で健康長寿都市「こまがね」へ！
☆安心して生み育てられる環境づくりを進めます
☆医療、介護のネットワークで支え合う福祉のまちづくりを進めます
- ② 防災・減災対策で安心安全の「こまがね」へ！
☆女性の視点でこまやかな防災対策を推進します
☆災害に強い安全安心のまちづくりを進めます
- ③ 一人ひとりが輝く、住みよいまち「こまがね」へ！
☆移住・定住の促進、若者女性の地元就業に係る雇用環境を整備します

プロフィール

○昭和35年生まれ○飯田長姫高等学校(当時)卒業○議会運営委員会副委員長○県の婚活支援サポーター○趣味は音楽鑑賞、速記(6級取得)○好きな言葉は「勇猛精進」



公明党
たけむら
竹村ともこ

多くの皆様からの温かな励ましに、心より感謝申し上げます。子ども達から高齢者まで、小さな声をお聴きし、市政につなげて参ります。安心して暮らせる駒ヶ根市のために動き、働く議員として、全力で取り組んで参ります。皆さまのご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。

夢をかたちに 令和を創る。

超 子 人 住

地域の人が、豊かさを実感できる「住みたいまち」づくりを目指します。

ふるさと駒ヶ根を愛し、「グローバルな視野」と「生きる力」を養う子育てを支援します。

地域の人が大勢が集まり、「ワイワイ」ガヤガヤとみんなだまちづくりに取り組みます。

自ら汗をかいて、「超長寿社会」に向けて、「次代のまちづくり」に取り組みます。



無所属
小松原しげき
こまつ しげあき

くらしを守り 地域をみらいへつなぐために

- ・若者や女性の声を市政へ
- ・生きがいと安心が見つかるこまがね
- ・地域や世界で活躍する人づくり
- ・農地と森林 資源活用の働く場づくり
- ・災害に強い社会基盤の確保と保全
- ・地域の介護力 支え合いの形成
- ・効果的な財政運営 市政の基礎体力強化

36年間の行政経験(市職員)をいかし、確かな議論によって 魅力あふれる市づくりをめざします

もっど! もっど!! 駒ヶ根 元気!

宮下みのる



無所属
みやした みのる
宮下 稔

(この選挙公報は、候補者から提出された原稿を写真にとってそのまま印刷したものです。)

みんなでかならず、投票しましょう!

駒ヶ根を元気に!! 日本1笑顔あふれるまちに
だれもが安心できる暮らしと、次代を担う子どもたちのために
持続可能な社会の実現を目指して!

地域の声
を行政に届けます。

エスディー・ジーズ
SDGs達成
のために行動します。

まちおこし
を続けます。

社会活動等 平成31年(2019年)3月31日現在
・駒ヶ根市農業委員(平成26年~)
・駒ヶ根市議会議員(平成27年~)
・駒ヶ根市議会教育民生副委員長(平成29年~)
・駒ヶ根花と緑と水の会 会長
「昭和伊南総合病院グリーンサポート」など
・駒ヶ根歌謡喫茶実行委員会 会長
「歌謡喫茶 駒ヶ根」(昭和伊南総合病院) 2009・2013
・光前寺周辺水仙の里景観形成住民協議会 会長
・こまがね市民活動支援センター(ばとな)創設メンバー
・こまがねテラスプロジェクト・メンバー
・まほろばの会(駒ヶ根歴史フットパス)
・長野県立赤穂高等学校同窓会 副会長

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
駒ヶ根市議会がSDGsの理念を
施策に取り入れるように提案。
(平成30年9月定例会一般質問)
結果、駒ヶ根市第4次総合計画
後期基本計画に盛り込まれました。
※2015年9月の国連サミットで採択された、
地球上の誰一人取り残さない社会の実現を
基本理念とした持続可能な開発目標。

提案者としての責務を果たすためにも、
今後の地域活性化の重要なカギとなる
SDGs達成のために行動します。

小原茂幸は、行動で示します!

プロフィール
昭和28年(1953年)11月16日 駒ヶ根市に生まれる。
長野県立赤穂高等学校普通科卒業 / 法政大学経済学部経済学科卒業 / 元会社役員 / 現在は農業



無所属
おはら
小原
しげ
茂
ゆき
幸

いきいきと個性が輝くまち・駒ヶ根を

駒ヶ根に生まれ、この時代に生まれて良かったと、
私たちが心から喜べるようなまちを創りたい。

- ・「健康=健幸」健康長寿日本一を目指します!
- ・農業・商業・工業・観光のさらなる「連携」を
- ・「民間活力の発揮」をめざします
- ・「郷土愛」を育みます

2018年度の駒ヶ根市10大ニュースに
「牛乳パン生みのまち」宣言が選ばれました。
駒ヶ根市の魅力に気づき、さらに高めてまいります。



無所属
塩沢
こういち

貧しくとも明るく心が通い合った昭和、
結果として自然災害や人災が多くインフラ
が整備され便利になった平成が過ぎ、少子
高令化が顕著となり夢と希望が持ちにくい
『令和』を迎え、私達はいかに生きて来た
か、これからいかに生きて行くのかをみん
なで考え行動する時が来ました。
私は、今こそ顔と顔が解り合い、心と心
が通じ合う地域づくり、市民の声が本当に
市政に反映される政治の実現の為に働く覚
悟であります。ご支援をお願い致します。



無所属
こほら
晃一

「人が集う街なかづくり」が目標。
JOCAとの連携が一番。約50年ぶ
りに駒ヶ岳ヘライチョウが帰ってき
た。中央アルプス国定公園化も間近
である。三遠南信自動車道、リニア
中央新幹線開通と今まさに当市への
追い風を感じる。駅前も整備され美
しくなる。アンテナを高く、風を受
け止める帆をきちんと張る役目を果
たしたい。同時に「財政の健全化」
が当市の課題である。地域の安心・
安全・笑顔の基盤はやはり財政がシ
ツカリしていること。事業の選択を
し、基金を積み立てることが大切。



無所属
池上
よしのぶ

このところ多くの自治体で、政治や選挙に関して関心が薄れ、無投票や投票率も低下の一途を辿っているのが現状です。県下でも議員のなり手不足が深刻な問題です。この対策として、定数の増減や夜間・休日議会など、議会改革と担い手の問題等解消に向けた検討が各地で始まって来ました。この地区でも、現職の後の立候補者予定が無く、今回の市議会議員選挙でも無投票の様相が高まって参りました。地方議員は行政に民意を伝え、行政の監視も担います。なり手が不足すれば地方自治がずれ成り立たなくなってしまう。人口減少や地方政治に対する関心の薄さも繋がってしまっています。地方議員は議会や議員のあり方を住民の皆さまとともに検証し、地域の実情に応じた将来の姿を決めていく姿勢が求められていると思います。また、今まで5年間「地域の魅力を歩いて知る取組」「フットパスウォーキング」にまちづくり団体のトップとして取組んで参りました。新しい観光資源への模索や、昨年は赤穂学校校歌100年にあたり、学校でもフットパスでの記念式典の盛上げに協力をし、教育の場でも活用が望まれています。ふたつのアルプスが映えるまち駒ヶ根。東西の山々を見つめるのが「フットパス」と確信しております。自然豊かな風景や景観を眺めながら歩く事で健康増進にも繋がります。今まで行なって来た集大成として、フットパスのまちとして、駒ヶ根市一帯が「景観セラピーロード」になりうるよう努めて参ります。観光・健康都市を目指して!! また、2年前に健康を害して手術、入院も経験し、健康であることの大事さも体感しました。病気になる前の予防や検診を充実させて行く必要性も当事者として痛切に感じております。検診率の向上も進めて参りたいと思います。



無所属
中島
和孝

現在超高齢化社会に突入しています。団塊の世代が後期高齢者となる2025年には、介護従事者の激減に伴い介護を受けたくても受けられない介護難民の発生、高齢者の5人に1人が認知症になると予想されるなど多くの高齢化問題を抱えています。そして就業世代の減少により福祉予算は現状に追いつかなくなることが予想され、高齢者のみならず障がいを持つ人々への福祉サービスにも影響が及びます。又、現在40代の人たちが後期高齢者になる2040年の「団塊ジュニア時代」にはもっと深刻な問題が予想されます。これは日本中で問題視されていますが、地方では都会より何倍かになって振りかかってくるでしょう。駒ヶ根市もその例外では有りません。これからは、国は、何をやってくれるんだ」という行政任せでは問題解決は出来ない時代になります。「自身の健康は自分で管理し、地域の課題は地域で考える」として地域住民はそこで活動する団体など力を合わせ、知恵をだし合い、「住民主体の地域づくり」を行う事が地域の活性化にもつながります。「地域活性化は物・金だけでは出来ません。そこに携わる「人」と「地域の輪」が重要で、「地域の中の個人」だということも大切に思い、お祭りや行事をとおして子供たちにも伝えるべくも必要でしょう。そして、認知症の方も、障がいがある方も「それぞれの個性を認め合う社会」を作り出し、「安心して活き活きと暮らし続けたい」として「地域」そんな地域をこれからの子や孫の為に財源として残してゆく事が、今を生きる大人の責任ではないでしょうか。私は、育てていただいたこの地域のために、残りの人生を使いたい。



無所属
中原
茂之

明るく住み良い元気な駒ヶ根市を
着眼大局・着手小局でつくりまします。
三原一高は行動します。

- 素晴らしい自然を残し、未来を担う子ども達の情操教育に生かします。
- 農業と商業・工業・観光の連携により産業の活性化をはかります。
- 防災を進め安全安心のまちを造ります。
- 芸術文化の香り高く、国都色のある都市を造ります。
- 食を通じてふるさとへの良さを感じる食文化を創造します。
- 保健・福祉・医療・介護を充実させ安心の街を造ります。
- 市民の中にある議会へ改革を進めます。
- リニア新幹線・三遠南信自動車道の開通に対応できる街づくりを今から進めます。
- 人口減少対策に「カンバックサーモン計画」を提唱していきます。



無所属
み
三原
一高

住みよい 健全な市政を

- 1 地域医療の充実
* 昭和伊南総合病院を市民が安心して受診できる病院としてしっかり守ります。
- 2 子育て・福祉施策の充実
* 子育て支援と、障がい者・高齢者が安心して暮らせるまちづくりを進めます。
- 3 防災対策
* 豪雨災害・地震災害に備え、自主防災会の充実と支援・消防団組織を強化し、安心・安全なまちづくりを進めます。
- 4 企業誘致の推進
* 企業誘致を積極的に取り組み、雇用促進に努めます。
- 5 観光と農業の推進
* 中央アルプス・早太郎温泉・ソースかつ丼・自然の美しさなどを売りに、観光客の増を進めます。
* 地元産の米・野菜・果物などを、ふるさと納税の返礼品に取り入れた、農業振興施策をさらに推進します。
- 6 結婚支援活動の推進
* 近年晩婚化が進み、少子高齢化となっております。「縁」はどこかにあります。独身男性・女性にすばらしい「縁」が来ますように応援します。
- 7 事業の見なおし
* 継続事業を含め、堅実な事業を推進します。
- 8 効率の良い税金の運用
* 皆様からお預かりした税金を大切に効率よく使います。



無所属
小林
としお

(この選挙公報は、候補者から提出された原稿を写真にとってそのまま印刷したものです。)

投票日に投票に行けないときは、期日前投票をしましょう!

福祉、子育て、暮らし最優先の市政に！



日本共産党
坂本やすひこ

市議会での間、子育て支援や、国保・介護保険料の負担軽減、税金の使い方に無駄はないかなど見直しや提案をしてきました。命・暮らしを守り、安心して暮らせる活力のある市づくりのために頑張ります。

- ◇ 災害に強い、福祉・防災・安全のまちづくりの推進。
- ◇ 国民健康保険料、介護保険料、利用料負担の軽減や減免制度の拡充。
- ◇ 子どもの医療費無料化を高校卒業まで拡充し、負担金なしを求めます。
- ◇ 地域公共交通は、市民が使いたい地域公共形式の改善に努めます。
- ◇ 公共事業は防災を重視し、生活に密着した事業を優先させます。
- ◇ 住民の利益第一で、国政、県政に筋を通してものを言い、わかりやすい議会にして、市民要望実現に取り組みます。

令和の新時代に若い力を!!



- 産業の振興に邁進します!**
 - ・企業誘致による雇用確保
 - ・農工商、観光業のさらなる振興
 - ・農作物で「こまがねブランド」の拡充
- 魅力あるまちづくり**
 - ・安全で住み良い環境の整備
 - ・男女共同参画社会の拡充
 - ・住みたい街 帰ってきたい街に
- 教育文化の充実を目指します**
 - ・世界とつながる教育の推進
 - ・文化芸術・スポーツの推進
 - ・地域の伝統や祭りの振興
- 子どもから高齢者まで安心できる街に**
 - ・子育て世代を力強く応援します
 - ・保健、医療、福祉、介護の充実
 - ・高齢者の生きがい対策

駒ヶ根市下平在住
赤穂中学校卒(平成2年度生徒会長)
長野県立伊那北高校卒
日本大学 藝術学部 演劇学科卒
女優室井滋さんのもとで俳優修行
有限会社 サスコ丸山商店 代表取締役
劇団サムライナッツ 主宰

43歳

松崎剛也

女優室井滋さんも応援しています!

無所属
まごぞのいづみ

願い実現の先頭にたって！



日本共産党
竹村ほまれ

暮らし・福祉・教育・平和

駒ヶ根市政を前進させます

- 子ども医療費の負担は窓口での完全無料化に
- 介護保険料、国保料の値下げを追求します
- 高校の安易な統廃合には反対します
- 義務教育における保護者負担金はゼロに
- 消費税増税に反対し市民生活を守ります
- バス等の幹線定期運行の復活で生活の足確保を
- 地震・豪雨・雪害等、防災対策の充実を図ります
- 種子法の再実現で特色ある日本農業を
- 竜東の振興は自然環境を活かした市の主要施策に
- 憲法9条の改憲には反対し、戦争のない社会を
- 原発再稼働には反対し、自然エネルギー活用とメガソーラー事業は十分な住民説明と合意を

居場所

◆すべての人に居場所がある社会的包摂を!

対話

◆対話の過程を大切に

◆活発な議論のある議会に

心豊かに暮らせる駒ヶ根市をめざします

地域

◆防災・減災

◆農林業を元気に

◆芸術文化

未来

◆仕事も家庭も大切に

◆財政健全化

◆夢の実現

プロフィール

- ◆1957年 東京都世田谷区生
- ◆埼玉大学 工学部卒業
- ◆持田製薬(株) 勤務
- ◆赤穂南小学校 PTA 副会長
- ◆支援センター事務局長
- ◆NPO法人 理事
- ◆県男女共同参画審議会委員
- ◆女性の自立支援の講座講師
- ◆市議 1期

ごあいさつ

女性の視点から、もっと市政・地域に関わりたいと考え立候補しました。議員として1期4年間の経験を生かし、全力で取り組んでまいります。

無所属

気賀沢よう子

平成30年度 明るい選挙啓発ポスター入賞作品

※ 学年は平成30年度の学年です。

小学生の部

銅賞



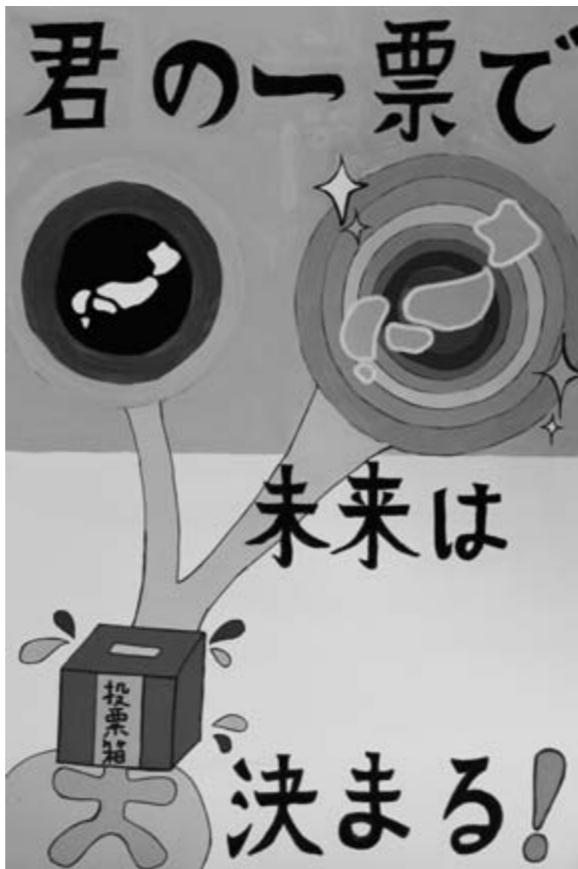
赤穂東小6年
妹尾 ゆかりさん



赤穂東小6年
大原 柚子葉さん



中沢小6年
宮下 琴羽さん



金賞

赤穂東小6年
西村七海さん

銀賞



東伊那小6年
深谷 稲生さん



赤穂南小5年
笹井 柚花さん

銅賞



赤穂中2年
塩澤 彩志さん



赤穂中2年
金井 沙衣さん



赤穂中1年
大藏 悟生さん

中学生の部

金賞



赤穂中2年
小牧 秀晟さん

銀賞



赤穂中2年
松崎 史織さん



赤穂中2年
下島 涼菜さん

駒ヶ根市議会議員一般選挙公報

委員長談話

駒ヶ根市議会議員一般選挙が本日告示され、四月二十一日に投票が行われます。

今回の選挙は、今後の市政のあり方を方向づける上で極めて重要な意義を有するものです。

有権者の皆様におかれましては、この選挙の重要性を認識され、選挙公報、演説会、インターネット等を利用する方法による選挙運動等を通じて、候補者の政策や識見等を見極め、市政を託す代表としてふさわしい人を選んでいただきたいと思います。

また、特に若い有権者の皆様におかれましては、他の年齢層と比べて投票率が著しく低い状況であることから、積極的に投票に参加されるように切に願います。

候補者、選挙運動員等の関係者におかれましては、選挙のルールを守り、市民全ての願いである明るくきれいな選挙を実現されるよう強く要請いたします。

終わりに、四月二十一日の投票日には、二万七千人余の有権者の皆様が、そろって投票に参加されるよう心より希望いたします。

平成三十一年四月十四日

駒ヶ根市選挙管理委員会委員長

澁谷光弘

◎投票日 4月21日(日)

投票時間は、午前7時から午後8時まで

投票所の閉鎖時間が繰上げになる投票所は以下のとおりです。

投票区	投票所	閉鎖時間
14	吉瀬自治組合集会所	午後6時
15	永見山生活改善センター	午後6時
17	上割生活改善センター	午後7時
18	中山分館	午後6時
19	伊那耕地いきいき交流センター	午後7時
20	東伊那多目的研修集会施設	午後7時
21	火山いきいき交流センター	午後7時
22	大久保いきいき交流センター	午後7時

◎投票場所 入場券に記載された投票所

※ 第4投票所(小町屋区、北割2区下の坊1,2)は昨年同様【市保健センター大会議室】です。

お問い合わせは選挙管理委員会まで 電話 83-2111 内線 935